

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	南鳩ヶ谷・児童発達支援			
○保護者評価実施期間	令和7年8月22日		～	令和7年9月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年8月22日		～	令和7年8月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動・音楽・自立の活動を主とした中で、得意を伸ばし、苦手意識をやってみように近づける療育	・取り組みやすい手順 ・分かりやすい表現 ・成功体験で終わる	各活動の担当者が年間カリキュラムをつくり、個の成長・成果を全体で把握できるようにする。
2	1対1の個別課題で、個の成長を伸ばす。	・課題に取り組む集中力をつける。 ・できる事を伸ばし、自信に繋げる。	職員全員が個の成長を、把握している状態をつくるために、記録の習慣をつける。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流会は行っているが内容の周知が出来ていない。	日時の決定後にお手紙を配布している。年間スケジュールとしての告知ができていない。	通信で報告はしている。参加者の同意をいただき、記録した写真等を保護者参観日に閲覧できるようにする。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で継続的に特定のこどもと活動する機会がない。	複合施設の為、ハロウィンやクリスマスなどで異年齢の交流は行っている。	子ども部会で市内他事業所の交流先を聞き、関係作りに努める。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					令和7年10月21日	
リズム南鳩ヶ谷 児童発達支援		利用児童数					20	回収数 18
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1	0	0		ありがとうございます。今後も、安全に考慮して行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	0		職員の定着維持に努め、手厚い支援を目指します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	1		保護者様には参観で室内を見ていただいています。ご都合に合わせての見学も随時受付しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1	0	0		継続・維持に努めます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	3	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0		集団での活動（運動・音楽・自立）を通じて年代や一人一人の特性・能力に合った作業や訓練を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	2	0	0		継続・維持に努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	0	0		ご家庭にも、活動内容等を分かりやすく伝えられるように努めます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	1	1	3	わからないにしようか迷いましたがないとおもいました。	今後は、歩行や公園遊びを通じて、地域の方への挨拶から取り組んでいきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		継続・維持に努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1	0	1	ペアレントトレーニングはないと思うので市の支援を受けています。（子育て支援課）	ペアレントトレーニングは行っていませんが子育てを応援する講座を計画しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	18	0	0	0		継続・維持に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	0	0	もう少し助言があると嬉しいです。（家でどんな対応をするかといなど）	連絡帳以外での保護者様へのフィードバックの回数を増やすよう計画しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1	0	0	連絡帳が一方通行な感じがするので回りごとに返事があると嬉しいのです。	連絡帳でお問合せいただいた回りごとに対し随時ご連絡し、保護者様支援をしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	3	0	1	保護者会があるのは嬉しいですが、うちは兄弟がいないので兄弟わけの支援については分かりません。	契約時に、保護者会や、交流会の開催等の説明を徹底していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	1		契約時に説明していますが、ご利用後の通信でも定期的にお知らせしていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	1	どういう意味かがよくわかりませんでした。	保護者様とは連絡帳・電話・通信等で分かりやすい意思の疎通や情報伝達を行うよう努めます。活動時の子どもへの対応は視覚化・はっきりとした言葉で対応しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	0	0		契約時に説明していますが、ご利用後の通信でも定期的にお知らせしていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	2	やっつけてくださっていると思いますが保護者に周知されていないともしました。	契約時に提示することを徹底します。 面談時や、避難訓練時に保護者様への周知にも努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	1		年2回の施設全体訓練と毎月児童発達支援での避難訓練を行っています。開催した様子をSNSや、リズム通信で報告します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	1		事故・怪我等が発生した際に、職員の対応はマニュアル化されていて職員間で共有しています。保護者様には状況をまず電話で伝えていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1	0	0		ありがとうございます。全ての方に安心感を持ってもらえるように今後も努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0		ありがとうございます。全ての方が楽しく通所してもらえるように今後も努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0		ありがとうございます。支援の充実を職員全員で考え、より良い施設になるよう今後も努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
南鳩ヶ谷・児童発達支援		令和7年10月21日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	多機能型の事業所のため、日中は、放デイの支援室を使用させてもらい、2つのグループに分けている。	活動を個別に分けた場合のスペースがあるとよい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3		不穏時に個対応が必要になったこどもが複数の場合、不足を感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	到着してまず身支度で集中できるようロッカーを正面に配置している。こどもの目線に名札をつけ、場所を固定して探やすくしている。	発達支援室にある洗面で手洗い、歯みがきをした際に水に執着してしまうこどもがいる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		トイレトレーニングをしているこどもが重なると便器の数が少なくかんじる
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		個別の部屋はあるが更に複数あると個別活動時に集中できる。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	ケース会議で職員からの課題の計画をし、次のケース会議で振り返りをしている。ミーティングで振り返りの時間をつくり皆で考えるようにしている。	口頭で意見を募る時間はケース会議になるが、支援検討の時間でもある為更に時間があるといい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者参観日と保護者交流会を設けている。交流会後にアンケートの提出をお願いし、意向の把握に努めている。	ケース会議で保護者様アンケート結果を職員で共有し、意向の実現に向けての方法を話し合う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月2回のケース会議で職員からの意見、提案の時間を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		現状の把握を、職員全員が認識している状態に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	常勤職員で会議を行い、現状の振り返りと今後の展望を話し合い、支援プログラムを作成した。	会議に関わっていない職員には支援プログラム内容を共有している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	ケース会議で職員から日頃の様子を聞き取り、課題の進捗をまとめている。保護者に個別面談を行い、家庭での様子を聞き取り、次の課題を決定する。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	共通な支援課題を活動時間でどのように継続し進めるか活動を分担している各担当と相談し、実施結果をを報告してもらっている。	各担当以外の職員には業務予定表で予定を知らせ、実施結果については気づきを記録し、共有している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画書はケース会議で口頭で伝え、文面は回覧して共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	利用者様個人ファイルにアセスメントシートを入れている。職員はいつでも見られるようにしている。	会社で共通のアセスメントシートを使用し、記入している。変更があった場合は書面で共有している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	個別に具体的な支援内容を設定して記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	各活動の担当が立案の中心になり、決めている。	ケース会議や毎日のミーティングでの振り返りで担当以外の職員の気づきや提案から変更することもある。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	基本の内容に研修等で習得した活動や幼稚園保育園の訪問で参考になったものを取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動と集団活動を組み合わせた活動プログラムになっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	勤務時間の違いから、打ち合わせに参加できない職員には、要点として伝える。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	業務後に全体で打ち合わせをする時間はとれていない。常勤職員での振り返りは行って翌日に全職員に共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	勤務時間内で記録を書く時間を設けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	利用者様の成長に合わせて、見直しをしている。保護者様に、事業所以外での様子も聞き、必要な場合は見直しを提案している。	ケース会議で全員で見直す時間をつくる。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		会議以前に、職員より情報を集約しておき、質問に繋げたり、2人体制で訪問している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	地域保健センター保健師と連携している利用者様がいて、定期的に電話で様子を伝え合っている。利用者様の要望もあり、幼稚園、保育園へ訪問、電話を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	保育園、幼稚園へ訪問して、情報共有を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	直接、または電話での情報共有をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	6	1	子ども部会を通じて、保護者支援についての情報をいただき、支援方法についてもグループディスカッションで参考意見を聞く機会があった。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	児童館や、公園に行った際に職員が間に入り一緒に遊べるように促しているが特定の事業所との交流は行っていない。	公園遊びでは、最低限の交流のみの場合が多い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	送迎時・連絡帳等で成長の様子をお伝えし、共通理解に繋がるようにしています。また参観等で来所時に面談を行い、理解を深めるようにしています。	ご家庭での様子、幼稚園保育園での変化を定期的に関き取り、職員で共有するよう努めます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	昨年度は地域の保健師さんに保護者様向けに子どもの面みがき講座をしていただいた。	事業所以外の家族支援講座の情報提供を計画的に行っていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	父母の会はないが保護者交流会を重ねる事でできた繋がりがある。今年度、保護者交流会は3回行つ。毎回きょうだいの参加もある。	今年度の保護者交流会ではお互いの話ができる時間を多くとるようにする。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	事業所の生活介護が主催する鳩フェスは今年で2回目。地域の方に施設を知ってもらい、児童発達支援を卒業した方の同意会の場としても楽しんでもらっている。	児童発達支援を卒業した方にチラシを配布している。現在の利用者様との交流でもあり、アドバイスをもらっている姿がみられ、繋がりができている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	月1回、地震避難訓練（おかしも、ダンゴ虫のポーズ・緊急地震速報を聞き対応する練習）・洪水訓練（避難先への歩行訓練）を行っている。	毎月行うことで迅速に行えるようになっている。引き続き、職員が緊張感を持って取り組んでいく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	医師の指示書が必要な利用児は現在無し。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		